



アイドル調教牧場

「いいね、澄香ちゃん。
似合ってるよ」

「プロデューサー！ 何なんですかこの衣装！？
こんな格好するなんて、私聞いてません！」

「君はまだ無名の新人アイドルなんだから
少し過激な衣装でアピールしないと！
先輩たちも通って来た道だよ？」



「ほらっ、社長たちがお越しになられたぞ！
ちやうんとおもてなしするんだよ。
これも仕事の一つだからね！」

「え……!?
きゃあああ！
な、何するんですか!?!」

「ほお、今度の新人は
なかなか有望じゃないか!
じっくり堪能させてもらおうぞ！」

「嫌あ……!
こんなこと無理です、私……！」

いじわる……

モリ
モリ



「おっぱい大きいね〜君。乳首も勃ちちゃって、気持ち良くなっちゃった？」

「そんなことないです……! あっ、おっぱい吸っちゃダメえ!」

「雌牛なのに母乳は出んのか? んん〜?」

いじわる...

モロモロ



「乳が出んのなら
わしらのミルクを搾ってもらおうか！」

「だから無理ですってばあ！
嫌あ！
すごいビクビクしてるう……！」

「おほお！
やわらかい乳がチンポに擦れて
気持ち良いぞ！」



「うっっ…もういきそうだ。
ほらっ、出すぞお！」

「やあああああああ！
熱くてドロドロしてらるうっうっうっ…
もうっ、嫌あ…！」

「どうだ？
わしらの濃厚搾りたてミルクの
お味は？ ぐはは！」



「たくさん乳が出るように
わしらがしっかり育ててやるぞ！」

「もうっ、やめて下さい……！
あっ…駄目え！
抜いてええええええええ！」

「ほおっ、さすが新人は
アソコの方も初々しいのう！
良い締め具合だ！」

ズボ
ズボ



「あっあっああん！
駄目え！
どうしてっ…こんな…！
あっあん！」

「セックスすれば
女に磨きがかかって
アイドルとしての魅力も増すんじゃないぞ？
それにそんなこと言って
アソコはもうビショビショじゃないか！」



「よし、そろそろ出すぞ。
膣にたっぷり注いでやるからなあ！」

「やだ…中に出さないで……！
あっあっ、嫌あああああああ！」

クンクン


クンクン

ム

グ
グ
グ

ズ
ズ
ズ



A blue-haired anime girl with a cow collar and a yellow bell. She has nipple clamps on both breasts. She has a surprised or blushing expression. The background is a wooden fence.

「さて、あれからしばらく経つが
そろそろ良い頃合いかのう…。
たっぷり生乳を搾ってやるぞ」

「嫌あ…こんな仕事
いつまで続くの…?」
…あ、ああ！
おっぱい吸われちゃうううう！」

「ほほっ
たくさん出ておる！
立派な雌牛じゃー！」

ビュ
ー

ビュ
ー

「あっあっあ！
駄目ええええええ！
おっぱい出ちやうよおおお！」



「よし、そろそろ
わしの搾りたてミルクも
いっぱい出してやるぞ！」

ビュ
ー

ビュ
ー

ビュ
ー

ビク
ビク

「あっあっあああああ！
熱いのがお腹の奥に
いっぱい出てるよおおおおお！」





「ほらっ、ここがイイんだろ!? このメス牛めえ!」

「あっあんっああん! そんなにズポズポしたら駄目えええ!」

「スケベな声で鳴きおって！
本当は気持ち良いんだろう？」

ズッ
ズッ

「あっあっ……ち、違うのに！
どうして……？
段々気持ち良くなってきちゃった……！
んっ、あっああん♡」

「ようし、
そうやってファンにも腰を振れば
人気アイドルになれるぞ！」



「ほ、本当ですか！？
ありがとうございますっ……♡」





























